

## 町田市における民間企業等と連携した熱中症対策について

町田市保健所健康推進課 清水 優、小松 武玄、菊地 仁幸、鷹箸 右子

### [はじめに]

2016年に制定された気候変動適応法が、地方自治体の熱中症対策への責務を強化するため2023年4月に改正された。

町田市では、副市長をトップとする「省エネルギー等対策会議」に新たに「熱中症対策推進部会」を2024年に設置し、民間企業の協力を得ながら全庁横断的に熱中症の普及啓発や公共施設等の避暑スペースの整備に尽力してきた。

この間、より多くの市民に熱中症予防に関する情報を効果的に提供するため、民間事業者と連携し、普及啓発の強化を行い一定の成果を得たので報告する。

### [目的・経過]

2024年6月18日「肌を通して社会とのつながりを広げるため様々な活動やモノづくり」に取り組む花王株式会社ヘルス&ビューティーケア事業部門スキンケア事業部（以下、「ビオレ」と略す）と本市は、健康づくりに向けた包括連携協定を結んだ。その前年「もっと町田を好きになり、住み続けたいと思うことができる街づくり」を進める株式会社ゼルビア（以下「ゼルビア」と略す）とビオレはスポンサー契約を結んでおり、同6月21日に、ビオレ、町田市、ゼルビアの三者で協働し、過酷化する猛暑の下で快適に過ごせるよう、“暑熱対策の啓発”に係る取り組みを進める方針を発表した。



図1. 三者連携取組みパネルのデザイン

### [実施内容]

#### 1. 2024年度の取組み

##### 1). 「Bioré マッチデー」の開催

8月11日開催のFC町田ゼルビア\*の試合で、熱中症対策イベントを実施した。



図2. 2024年度暑さ対策 ブース活動

ビオレと協力し暑さ対策ブースを設置して、来場者に『ビオレ冷タオル』®の試供品を配布し、ハーフタイムにメインビジョンで熱中症対策啓発動画放映した。



図3. 着ぐるみ大集合撮影会

ゼルビー\*\*、ハスのん\*\*\*、ビオレママと来場者の撮影会を実施し好評を得た。

##### 2). 『ゼル塾』の活用

ゼルビアが作成した子どもの学習環境サポートオンライン学習教材『ゼル塾』に、熱中症対策関連コンテンツを作成し、いつでも学習できる環境を整備した。

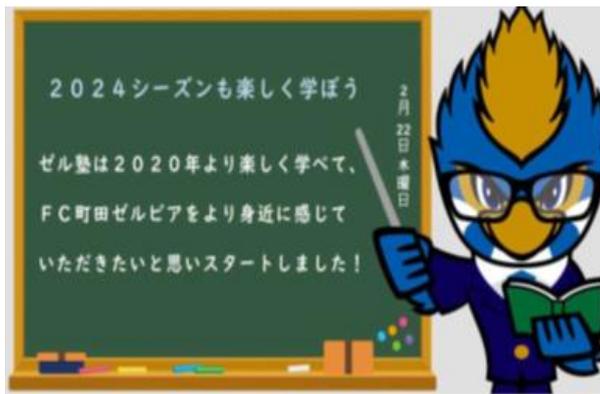


図 4. ゼル塾イメージ



図 6. 2025 年度 暑さ対策ブース活動

### 3). 「ゼルキャン」イベントへの参画

同 8 月 4 日に開催された親子ふれあいサッカーイベント『ゼルキャン』に参加した親子に向けて、熱中症対策に関するクイズを実施することで普及啓発を行うとともに、『ビオレ冷タオル』®の試供品を配布し使用を促した。



図 5. ゼルキャンでの熱中症啓発資料

## 2. 2025 年度の取組み

本連携事業に継続的に取り組む中で、翌年 8 月 16 日の FC 町田ゼルビアホームゲームにおける出展内容を強化した。

熱中症の普及啓発を目的としたクイズや抽選会参加者への協賛グッズ配布に加え、塩タブレットや飲料水の配布、冷却用の氷水を活用した打ち水・手湯などを行い、約 1,000 人のブース来場者に楽しみながら、「涼」を感じていただいた。

### [結果と考察]

本連業を通じて、多くの人々が集う真夏のスポーツイベントにおける熱中症対策を、協力企業が持つブランド訴求力と暑さ対策に関する専門的知見を有効に活用すると共に、試供品の配布による集客効果や情報発信力と掛け合わせることで、より効果的な対策を来場者参加型のイベントとして実現することが出来た。

町田市、ビオレ、ゼルビアという、一見共通項がない組織が『熱中症対策』というキーワードを軸に連携し事業展開したことで効果があがったと考えられた。

### 「おわりに」

今後、行政が施策を推進する上で、本連携事業は民間活力を活用した効果的なモデルケースとなった。

今後行政職員はより視野を広げ、行政が持つ課題の解決と民間事業者の行政に協力することで得られるメリットを意識しながら、より効果的な事業展開に取り組んでいく役割が求められる。

\*FC町田ゼルビア:2025年度天皇杯を制した町田市を本拠地とするプロサッカーチーム

\*\*ゼルビー:ゼルビアのマスコットキャラクター

\*\*\*ハスのん:町田市のエコキャラクター  
(ハスの花の妖精)